

## ■わんぱくプラザ老上の活動（老上学区地域協働合校推進委員会）

### 1 【活動の趣旨】

地域の大人たちが知恵を出し合い企画・実施し、子ども達が様々な人やものに接して学べる機会を創出する。また、参加した子どもたちの保護者にも活動への参加を促し、世代を超えたつながりを広げ、深めていく。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○7月「おたのしみデイキャンプ」

対象：老上学区の小学1年生～6年生

場所：老上小学校体育館、老上まちづくりセンター、矢橋港

参加者数：78人（児童34人、保護者・スタッフ44人）

①午前の活動：矢橋港で魚釣りと魚拓取り②昼食「カレー」

③午後の活動1：新聞紙を使った工作。テーマは「高さ

比べ」「テントを作る」④おやつ「かき氷」

⑤午後の活動2：防災カルタほかレクリエーション

○12月「子どもロケット体験教室」“つかいみちを選べる赤い羽根募金”助成事業を活用しロケット制作、打ち上げを行った。

○2月「お楽しみ会 KAPLA ワークショップ」 KAPLA（同じ大きさの小さな板）を積み重ねて、建物、道路や線路、乗り物など自由な発想で街を作った。

○そのほか、春と秋の農業体験、びわこ文化公園での活動（美術館訪問を含む）、書き初め大会の合計7回の活動を行った。

### 3 【実施に当たっての工夫】

「おたのしみデイキャンプ」ではコロナ対策として昼食のカレーは調理をせずにレトルトカレーを使い、配膳と食事は屋外で行った。また、熱中症対策として、集合時間を早め、釣り会場となる矢橋港への移動を当初予定の徒歩から公用バス利用に変更した。

### 4 【事業の成果】

活動後のアンケートをみると「難しくて最初はできないと思っていたことが出来た」「友だちと助け合ってできてうれしかった」「環境について考えた」などと綴られており、あきらめない気持ち、協力することの大切さ、なにかに気づいて考えるなど、子ども達それぞれに学びがあったことが読み取れた。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

7月のデイキャンプでは老上ふれあい農業合校の協力のもと大人が手作りの釣り具を事前に用意したが、今後は子ども達が大人と一緒にものづくりを学びながら準備していく企画を考えていきたい。



【魚釣り（矢橋港）】



【新聞紙でテント作り】



【美術鑑賞】



【KAPLA ワークショップ】



【農業体験 田植え】